

# 仕 様 書

業務受託者（以下「乙」という。）は，市立旭川病院（以下「甲」という。）の水冷式チラーユニット及びこれらの周辺機器（以下「装置」という。）がその機能を支障なく使用できるよう，装置の信頼度を維持するために，当該装置全般にわたる保守点検を行うものとする。

1 業務名 水冷式チラーユニット保守点検業務

2 履行場所 市立旭川病院内

3 履行期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 装置等の概要 主に，病院内の空気調和設備機器等に供給する冷水を作っている。

5 点検対象機器の概要

水冷式チラーユニット 6台 型式：MCR-SP80KE  
三菱電機（株）製

6 業務内容

- （1）業務内容は，機器の点検整備基準によるほか，関係法令に基づき点検を実施するとともに甲から諸設備機器装置の不時の故障等の通知を受けた場合は，遅滞なく保守員を派遣し，機器装置の修理，復旧を行うものとする。ただし，それに要する費用は甲乙協議して決定する。
- （2）本業務で発生した交換部品等の費用負担は，甲乙協議して決定する。

7 点検内容，修理及び報告

- （1）点検内容及び運転データは，表1及び表2のとおりとし，異常・故障の早期発見に努めるものとする。また，点検日程等は担当職員と別途協議するものとする。

表 1

点検内容		
機能点検	共通	運転状況 （温度・圧力）の確認 異音・振動の確認
	冷媒系統	膨張弁の動作確認 電磁弁の動作確認 冷媒漏れ点検
	保護機器	圧力開閉器の動作確認 温度開閉器の動作確認
	電気系統	電気部品の動作確認 制御機器の動作確認 絶縁抵抗の確認

状態点検	圧縮機	油量の点検 外観点検
	熱交換器	凝縮器の汚れ点検 冷却器の汚れ点検
	外装他	パネルの外観点検 ユニット塗装・熱絶縁の外観点検
手入保全	外装他	圧縮機外観補修 配管，配線の結束手直し
※6 機共通，その他必要に応じて追加のこと。		

表 2

運転データ ※6 機共通 必要に応じて追加のこと。	
型名	MCR-SP80KE
項目	高圧圧力 (HP1)
	低圧圧力 (LP1)
	吐出ガス温度 (TH13)
	モーター室温度 (TH3)
	油面計油量
	吸入ガス温度
	液温度
	冷却水 (入口) 温度センサ (TH5)
	冷却水 (出口) 温度センサ (TH7)
	冷水 (入口) 温度センサ (TH6)
	冷水 (出口) 温度センサ (TH8)
	電源電圧
	圧縮機電流
	圧縮機積算運転時間
	絶縁抵抗
	LEV (主液) 開度
	LEV (ECO, L/I) 開度
	電磁弁 (2 1 SC)

(2) 保守点検は，年 1 回の実施とし，フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）に基づく定期点検を含むものとし，実施時期については担当職員と協議するものとする。

(3) 乙は，点検又は修理終了後には作業報告書 2 部を甲に提出するものとする。

#### 8 業務完了報告書

履行期間終了後，速やかに業務完了報告書を契約担当課に 1 部提出する。

#### 9 委託料

委託料は，一括後払いとし，業務完了報告書の検査に合格した後，適法な請求書の提出を受けた後に支払うものとする。

## 10 連絡及び指示事項

- (1) 乙は、業務実施に際し、業務責任者を置くものとする。
- (2) 乙は、業務のため技術員を派遣する場合は、事前に業務実施表及び作業員名簿を提出すること。なお、業務に必要な機器等を搬入出する場合は、日時及び方法について担当職員と事前に協議してその指示に従うこと。
- (3) 業務実施に必要な官公庁その他への手続及び業務遂行に伴い発生した廃棄物（一般廃棄物を除く）については、乙の責任において速やかに処理するものとし、これに要する費用は、乙の負担とする。
- (4) 業務履行時における作業員の駐車場所（自動車のみ）については、原則として当院駐車場（当院敷地内を含む）を使用してはならない。

ただし、月に1回前後又はこれ以下の作業を行う業務委託の場合で、当該作業員が登院するために自動車を用いる場合は、当院の業者用玄関前に駐車することを認める。この場合においては、業者用玄関前の区域は駐車台数が限られているため、可能な限り駐車は避け、作業員を登院させた後に自動車を移動させたり、他の業者と作業時間が競合する場合は作業日程を調整するなどの配慮をすること。
- (5) 本仕様書の点検業務に必要な工具・計測器及び消耗品等は、乙の負担とする。
- (6) 乙は、業務を実施するに当たり、建築物・設備・物品等に損害を及ぼさないように十分注意すること。万一損害を与えた場合は、速やかに担当職員に報告の上修復し、その費用は乙の負担とする。
- (7) 業務実施に際しての事故・火災及び技術員の身元・風紀・衛生その他業務規律については、乙が一切の責任を負うこと。
- (8) 乙は、業務の範囲を超える特殊な事故の発生又は事故箇所を発見したときは、直ちに担当職員に連絡すること。
- (9) 本仕様書に定めのない事項については、担当職員と協議するものとする。
- (10) この仕様書で示す業務の全部を一括して又は指定した部分を第三者に委託してはならない。
- (11) この仕様書で示す業務の一部を第三者に委託しようとするときは、あらかじめ書面にて旭川市病院事業管理者の承諾を得なければならない。